

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

楽しかった雪上運動会♪



雪降る中でエイサー



今年の冬も寒かった…けど「体験の翼」交流団 西会津で熱い交流

2月8日（金）～11日（月）の3泊4日、「体験の翼」の団員16名と引率者5名が、福島県西会津町へ出発。雪国の友達と交流を深めました。

最初の2泊3日は夏の体験の翼でパートナーになった友だちの家々にホームステイ。スキーやスノーボードを体験したり、鶴ヶ城を見学したり久々に会う友達と交流を深めつつ、福島を存分に楽しみました。

今年で20回目となる西会津への訪問。雪国まつりでは毎年恒例のエイサー演舞の他、雪上運動会にも参加。ふみ俵競走、ムカデ競走、そり競争を制し6年生男子が見事総合優勝に輝きました！！

あっという間に過ぎた3泊4日。団員達は貴重な体験を通し、たくさんの思い出を持ち帰ることができました。



国会議事堂



東京タワー

あじま〜1月号で紹介した池原先生の教育委員だよりの続きです。池原青年のその後が気になっていた人も多いのではないのでしょうか？1月あいてしまいましたが、続きをご紹介します。
なお、今月の教育委員だよりは6ページにあります。どちらも興味をひく内容となっています。ご覧ください。

教育委員だよりの

「花づくりが好きになるまで（2：高校生活）」 池原弘昭

2年生の1学期、絶好調で10kmを35分台で走れるようになり同レベルの部員が5名ほどいたの、当時としては選手層もあつく辺土名高校が沖縄一だと自負していたので、今年こそは優勝できると益々練習にも熱が入った。ところが、エースの先輩が事情があって高校を中退したことが大きなショックとなり、走る意欲もなくなってしまった。これまで、成績のこと、勉強のことはなにも考えない生活であったが、夏休みになり学校から送られてきた通知表を見て愕然とした。元々、第一志望の高校でなかったこともあり、意図的に現実の成績を見ないようにしていたがあまりの悪い成績にこれからどうしようかと悩みつづける生活が一月もつづいた。出した結論は「高校生活をもう一度やり直すために中退し、再度北部農林高校を受験する」ということであつた。しかし、この考えには父親も当時の担任も同意しなかった。特に担任の上間先生は教科で課題なのは英語だから英語をどうにか頑張れば大学だって行けると説得し、中退することに反対した。中退してやり直すことしか考えていなかったが、「英語」の教科を担当する先生が「英語を頑張れば、大学だって行ける」と自分で自負していた教科等に高い評価をし、良いところを見ていてくれたことに大変うれしくなった。そのこともあり、中退しないで新しい道を考えることになった。そして、9月の一月間、上間先生の下宿先を何度も尋ね、将来のことについて話し合い「休学して、苦手な英語を名護の英語学校で基礎から勉強する」という結論になった。校長先生との話し合いでは10月から3月までの6ヶ月、毎週土曜日の午後は高校に来て一週間どのように過ごしたか、生活の様子を報告するように指導された。この約束は、ほぼ毎週実行したので次の年の4月に復学することもスムーズに許可された。



二度目の高校2年生の生活は、目標が定まった（将来は自分の得意な教科を活かした職業、できれば社会科の教師になりたい）ということもあり、授業を受ける態度がよくなった。分からないところは、積極的に各先生方に近付いて指導を受けるようにもなった。また、特に幸いであつたのは、中学の優秀な後輩と席を同じくすることで多くのことを学ぶとともに同級生として、仲間として受け入れられたことであつた。教科の学習も一学期は前年度と同じ内容なのでよく分かるようになり、ほとんどの教科で満足できる成績を修めることができた。これまでは、テストが恐かったが、テストを楽しむことができるようになっていった。そうは言っても、やる気だけではどうにもならないこともあつた。基礎学力の積み重ねが特に必要な数学はどうしても「4」の評価を得ることはできなかった。

駅伝部の練習も復活したが、生活のリズムを練習中心から勉強へと重点を移したこともあり、以前のような記録は出せなくなっていた。それでも3区（8km）の要所をまかされたのはよい思いでとなっている。3年生では監督の先生にお願いして大学受験のために勉強中心の生活をすることにした。監督からは駅伝部に残り部員全体のまとめをするように言われた。当時の部員の大部分は自分が入部を勧誘したこともあり、世話役（マネージャー）をして活動することになった。そのときの成績は準優勝であつたように記憶している。

大学は琉大の史学科を受験したが、総合的な力不足、特に数学が苦手とういこともあり不合格となった。浪人して次年度に再挑戦する道も考えたが、受験科目に数学があることを考えると合格することが約束される訳でもない。すでに1年は休学して遅れてもいるので浪人はしたくない。どうにか自分の学力で合格できそうな本土の史学科のある私立大学、沖縄で現地試験をする大学を条件に調べていたら、立正大学があつた。社会の本村先生に相談すると地理学科、史学科に対する評価もそれなりに高く史学を勉強するならよい大学だと受験することをすすめられた。試験日も十分間に合うので担任の我喜屋先生に書類作成をお願いして受験した。幸い合格できたのでその大学に進学することに決定した。



（大学生生活へつづく）

第50回沖縄教育版画コンクールにおいて、村内の児童6名が特選、優秀に輝きました。入賞者は以下の通りです。



特選

小1 島袋愛瑛（大宜味小） 真栄田楓夏（塩屋小）

小3 新城はるの（塩屋小） 宮本琴乃（塩屋小）



優秀

小1 宮本大雅（塩屋小） 小6 金城元汰（大宜味小）



「大宜味村立学校適正化総合基本計画」決定

2月25日（月）に開かれた、教育委員会議において以下の通り決定しました。

小学校について

- ・4小学校（喜如嘉・大宜味・塩屋・津波）を統合し、新たに小学校を「結の浜」地区内に新設する。

中学校について

- ・「結の浜」地区内に移設する。
- ・開校予定を小学校、中学校ともに平成28年4月とする。

ダンボール王に俺はなる!!!!

平成24年度わんぱく体験団 第7回講座「続. わんぱく、家をつくる」&修了式

2月23（土）、24日（日）、村農村環境改善センターにおいて今年度最後となる、わんぱく体験団第7弾「続. わんぱく、家をつくる」を開催し、わんぱくたちが楽しみにしていたダンボールハウスづくりを行いました。

今回は部活動なども重なり17名と少ない参加者でしたが、わんぱくたちは班で協力しながら、思い思いのダンボールハウスをつくりました。



広くて丈夫な家

1年生が立って動ける高さがある家



各々の部屋も完備!!



建物をうまく利用しました
入口が3つあるらしい...



テーブルも作ったよ



今年度、最後のわんぱくとなったこの日。講座の終わりには閉講式が行われました。今年度は34名と多くの団員が集まり、どうなる事やらと思いましたが、この中から6名が皆勤賞を受賞♪
大変な作業もあったけれど（あえて用意しましたが）楽しんで参加してもらえたようで事務局も嬉しい限りです。
1年間の活動を通し、初めて宿泊ができるようになった子。下級生をうまく引っ張っていけるようになった子。
それぞれの成長が見られた今年のわんぱくたちでした(^^)v

塩屋小

劇 お化けの学校



芸能 塩屋っ子∞(イト)



歌三線



音読「おにはうち ふくはと」



津波小

テーマ

夢 勇気 希望！ 輝く津波っ子の未来にむかって
たくさん感動をあたる学習発表会

テーマ

最後まで心を一つに劇や演そうをやりとげます！！

お化けですけど何か？



総合表現 おむすびころりん

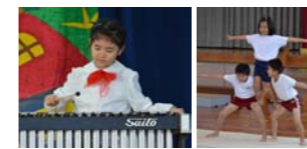


発表「レッツ トライ」



とんご観あれ！！

合唱奏 サウンド・オブ・ミュージック



全校音楽「エビーバ 友だち」



4小 学芸会・学習発表会

2月3日（日）、村内4小学校で学芸会、学習発表会が開催されました。

この日のために練習を重ねてきた児童たち。音読や合唱、合奏、歌三線や劇など各学校で特色ある演目が披露され、会場に訪れた家族や地域の方々には児童たちの一生懸命な姿に魅了されました。

どの子も1等賞の素晴らしい学芸会・学習発表会となりました。

ダンス・音楽劇 友だちっていいね



体育 心を一つに Let's ロープスキッピング



喜如嘉小

テーマ

みんなが主役だ！！
力を合わせ堂々と演じるぞ！！

琉球音楽



合唱・合奏 ゆかいな音楽会



郡読



田嘉里



郷土劇 郷土を調べて劇で伝える



謝名城



喜如嘉



合唱奏 レッツ！ミュージック



舞踊劇 てぶくろ



劇 大宜味大工物語



大宜味小

テーマ

キラリと光り 役になりきろう 大宜味っ子！

地域の教育資源を活かして… 大宜味村学力向上推進実践報告会

1月27日（日）、津波小学校にて平成24年度大宜味村学力向上推進実践報告会が行われました。各学校、地域や子供会での学力向上の1年間の取り組みを報告するこの会。

今年は地域の教育資源を活用した公開授業が行われ、1年生の公開授業ではいつもお世話になっている区長さんたちを招き「大事なことを連絡しよう」（国語）という授業で、職員室や保健室などひとつひとつ大きな声で丁寧に学校案内をしました。

各学年とも地域に密着した特色ある授業が行われ、児童たちが楽しく取り組んでいる様子が見られました。



3時からは辺土名高校放送部の金城里緒菜さん、尾久雅也さんの司会進行で実践報告会が始まり、津波小の児童たちは郡読と、昨年から夕方の放送で流れているアイモコさんの「ともだちの木のうち」の披露。辺土名高校サイエンス部は「色素増感型太陽電池の作成～染織時間における電圧の変化～」の研究発表を行いました。



公開授業、実践報告会、各学校の展示発表などから、自分の子どもたちや他校の子どもたちがどのような学びを受けているか、どんな状況におかれている



か知るチャンスでしたが、残念ながらどの校区も保護者の参加は少なかったです。

「学力向上推進実践報告会」という名前を聞くと、堅苦しく難しい話ばかりするのではという懸念もあるかもしれませんが、実際は普段あまり見ることのない他校の授業参観や、子どもたちの発表もあり、気軽に来られるような面もあります。参加することで「知る」ことも多く、行政や学校、地域で成果や課題を共有することもできます。来年は多くの保護者の参加を期待します。



教育委員会学校教育係からのお知らせ



1. 村内に住所がある家庭の児童生徒は、教育委員会が指定する小学校・中学校に就学します。
2. 他市町村の学校に入学する場合、国立、私立の学校へ入学させる場合は事前に必ず教育委員会へ連絡して下さい。
3. 身体的理由及び事情等により指定校へ通学に支障がある場合は、教育委員会に届け出て下さい。
4. 住所、氏名等記載事項に誤りがある場合は教育委員会へ申し出てください。



大宜味村教育委員会 TEL 44-3006

教育委員だより

「平成24年度大宜味村学力向上推進実践報告会に参加して（雑感）」

宮城成和

先日津波小学校での平成24年度大宜味村学力向上推進実践報告会に参加し公開授業を参観する機会がありました。1年生の国語、2年生の図画工作、3・4年生の音楽、5・6年生の国語、特別支援学級の図画工作の順で各教室を廻らせていただきましたが、どの子供も挨拶上手で元気がよく、はきはきして感じがよく、チャイムと同時に各々に着席し授業で使用する教材の準備の手際良さ、礼儀正しい授業の始めと終わりの挨拶、担任の優しさ、分かりやすさと温かさの中で、子供たちの目が次第に輝き、明るく、楽しく、いきいきと活動する姿がとても印象的でした。すばらしい授業に接することが出来ました。



また今年は、「地域教育資源活用研究事業」推進地域の発表も合わせて行われました。

その中で5・6年生の国語の授業では「地域人材」を活かして、古くから琉球で受け継がれた琉歌を基に作られた「琉球カルタ」遊びを通して、沖縄の文化を子供たちに伝えるねらいで行われた授業では、地域講師の先生が奏でる三線と歌の格調高い沖縄の古典音楽をバックに、独特のリズムと強弱などを工夫した読み方の中で、詠み手・助手（地域の講師の先生）・とり手が一体となって楽しむ姿に、周囲も心が和み清しい気持ちに包まれました。

特別支援学級では、本村出身で沖縄県教育委員の宮城奈々先生と連携して取り組んだ授業で、苦手な活動にも真正面から積極的に挑戦し、失敗を重ねながらいろいろな工夫と懸命な努力で作品を完成させるまでの一連の過程を通して一步一步確実に成長していくK君の姿に接し心から大きな拍手を送らずにはいられませんでした。また、授業の最後に感謝会を開き、K君がお世話になった宮城奈々先生をはじめ、周囲のみなさん、及び、当日授業を参観していた自身のお母さんへK君の感謝の気持ちを綴った感想・記録の発表は、参加者に大きな感動と元気を与えてくれました。

併せて、担任の先生のK君へ語りかける一言一言、板書、教室内の展示等に愛情いっぱいの雰囲気を感じられる授業風景でした。

後半の全体会においても津波小学校の元気な子供たち全員による力強い発表、また、家庭・地域部会の発表では、少ない人数ながら各地域の特色を生かし地域全体で支え合う連帯感の強さが感じられるPTA・子ども会等の実践発表。最後に本研修会を締めると先頭に全先生方が参加し、心をひとつにして真剣に取り組んでいる中身の濃い素晴らしい実践として印象深く残った発表でした。子供たちが主役であり、子供たちの活動が目に見え、子供たちの成長が確実に感じられる実践報告会。また、それを支えて下さったPTAをはじめ地域の皆様方の大きなパワーを目の当たりにした報告会でした。



小さな学校・小さな村の大きな報告会 正に圧巻でした。

なお、当日の実践報告会には書面による各小学校、中学校、幼稚園、及び村内の各PTAと各子供会活動のそれぞれの特色を生かした素晴らしい実践報告も行われました。

更に、大宜味中学校卒の辺土名高校の生徒の皆さんが、全体会の司会進行及び実践報告（サイエンス部）で花を添えていただきました。

関係者の皆様に心から感謝の意を表しますと共に、本会の今後なお一層のご発展をお祈りします。誠にご苦労様でした。

- 追伸
- ※ 楽しい我が家・明るい地域社会の基に 子供たちの正しい生活リズムが生まれ・確立する
 - ※ 正しい生活リズムの基に 子供たちの基礎・基本が生まれ・定着する
 - ※ 基礎・基本の定着の基に 当り前のことが当り前に出来る
 - ※ 当り前の事を当り前に出来ると 子供たちのやる気が生まれ・育まれる
 - ※ 子供たちのやる気が出ると 学習習慣が根付く
 - ※ 学習習慣が根付くと 子供たちに大きな夢が生まれ・育まれる
 - ※ 大きな夢の基に 子供たちの行動力が生まれ・大きな力に結びつく
 - ※ 行動力の基に 子供たちの確かな学力が生まれ・定着する
 - ※ 確かな学力の定着の基に 子供たちの生きる力が生まれ、社会人として生きる幸福に繋がる

地球村宝“大宜味っ子”の健やかな成長を祈念します。



ドゥーチユイムニー（独り言）

友寄景善

二四年度も残り少なくなり、役場や学校においては一段とせわしい時期が来た。これまで実施してきた事業のチェックやまとめ、そして翌年度の計画を同時並行的に取り組まねばならない。事業の執行状況を予算書と照らしながら、念には念を入れ、未執行事業や予算残高等、綿密に確認作業を行い年度内の締めを図る。ウツカリミスでは済まされない。一人で様々な業務を広汎に担当しているので失念が無いよう、チェック体制の強化が求められる。役場の仕事は、簡単に表現すると予算を執行する事である。予算書を見ると役場のことが大体把握できる。予算に基づきすべての業務が執行され、予算書にない事業を実施することは先ずあり得ない。そのため予算編成は役場の最も大事な業務の一つである。教育委員会においても予算書に基づき様々な事業をほぼ計画通りに実施してきた。職員だけでは執行が困難な事業やイベントも多い。村民を始め、関係機関との連携や協力のおかげで事業を遂行することができた。改めて感謝したい。とりわけ、大宜味村立学校適正化総合基本計画が去る二月二五日に開催された教育委員会議において、正式に決定された。この決定を踏まえ、教育委員会事務局は基本計画に基づき、事業の推進に努めていかねばならない。村民の皆様のご理解とご協力をさらにお願ひしていきたい。

新年度の事業もすでに取り組みを開始した。四月に開催される塩屋湾一周トリムマラソン大会の受付が始まった。村民多くの参加をお願いしたい。今大会から辺土名高校の駅伝部を招待する予定でいる。同校の放送部は毎年御協力を頂いている。両部の活躍で辺土名高校がさらに元気になればと願う。

今月の生きもの



オオシマカクムネベニボタル：ベニボタル科

春がき～た～春がき～た～、大宜味にきた～♪

どうも～私たちオオシマカクムネベニボタルです。春先になると出現する私たち。ホタルという名前は付いていますが、みんながよく知っているホタルの様に発光することはありません。体に毒を持っているので、敵に襲われた時はこの毒で身を守ります。おしやれな体の色も敵に「毒がありますよ」って教えてる目印なんです。

～編集後記～

やんばるも新緑の時を迎えました。黄緑色の初々しい森、動物たちも繁殖のために活発に動きだし、森全体がエネルギーに満ちあふれています。気持のよい季節ですね。年度末で忙しい人たちもたまには表に目を向けて見てください。きっと春のパワーで癒されるはず♪

3月の行事予定

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1日（金）村生徒指導連絡協議会③ | 11日（月）振替休日（大中） |
| 3日（日）村P連6年生激励会（大小） | 15日（金）幼稚園修了式 |
| 4日（月）区長会 | 17日（日）軽スポーツ講習会 |
| 振替休日（大中） | 20日（水）春分の日 |
| 6日（水）お別れ遠足（喜保） | 21日（木）小学校卒業式（4小） |
| 8日（金）お別れ遠足（塩保） | 22日（金）修了式・離任式・PTA送別会（4小） |
| 9日（土）大宜味中出校日 | 26日（火）学校管理職激励送別会 |
| 10日（日）大宜味中学校卒業式 | 27日（水）大宜味中離任職員送別会 |
| 軽スポーツ講習会 | 28日（木）ほのぼのパーティー（喜保・塩保） |

